

(1/29 京旗)

## 「無症状感染者へPCR検査拡充を」

菅義偉首相が経済政策の司令塔と位置付け  
る経済財政諮問会議  
(議長・菅首相)の中  
からも、政府の感染症対策に疑問を呈す声が  
出始めています。内閣府が26日に公開した21  
日の2021年第1回  
経済財政諮問会議議事  
要旨から明らかになり

### 経済財政諮問会議 民間議員からも

ました。

同会議では民間議員の新浪剛史氏(サントリーホールディングス社長)が、「現状のような感染拡大、医療逼迫(ひっぱく)が起じりてしまつた今の状況を踏まえると、クラスター対策を中心とするこれまでの感染対策に限界があったのは明らかではないか」と語ってあります。その上で同氏は「感染対策の抜本的見直しを表明すべきだ」と主張。具体的な対策として、無症状感染者へのPCR検査を大幅に拡大し、感染源を早期に発見、隔離するなどをしてしまつた今の状況を訴えています。ノーベル医学・生理学賞を受賞した4氏が発表した声明を挙げて、その上で同氏は「感染対策の抜本的見直しを表明すべきだ」と主張。具体的な対策として、無症状感染者へのPCR検査を大幅に拡充などと訴えていました。さらに新浪氏は、広島県で予定されている無症状感染者を含めた大規模検査の実施にふれ、「大変望ましい方向だ。政府でも先手先行で対応してほしい」と求めています。